

冊子1

令和7年1月

定例教育委員会

1

長崎県教育委員会

1月定例会（1）

開催日時 令和7年1月16日（木） 15時00分

開催場所 県庁行政棟「教育委員会室」

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報 告

(1) 「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組結果等について (児童生徒支援課)

(2) 第70回記念長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」について (学芸文化課)

(3) 「ちょっと見てみんな！神楽の世界」の開催について (学芸文化課)

報 告 事 項 (1)

児童生徒支援課

件 名	「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組結果等について																																				
概 要	<p>1 概 要</p> <p>各学校で教育週間を設定し「地域の子どもを地域ではぐくむ」という気運を高め、「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成」を目的として、学校と保護者や地域住民が連携し、様々な取組を実施した。</p> <p>なお、実施期間を「5月から7月」及び「9月から11月」の間で各学校が設定する一定期間とし、各学校が実態や地域の状況に応じて、弾力的に取り組んだ。</p> <p>2 実施状況</p> <p>(1) 教育週間中の学校訪問者数及び企画・運営などへの協力者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">小学校</th> <th style="text-align: center;">中学校及び 義務教育学校</th> <th style="text-align: center;">高等学校</th> <th style="text-align: center;">特別支援学校</th> <th style="text-align: center;">全 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">71,640 (236)</td> <td style="text-align: center;">16,503 (101)</td> <td style="text-align: center;">6,201 (109)</td> <td style="text-align: center;">1,331 (78)</td> <td style="text-align: center;">95,675 (177)</td> </tr> <tr> <td>協力者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">11,638 (38)</td> <td style="text-align: center;">3,488 (21)</td> <td style="text-align: center;">970 (17)</td> <td style="text-align: center;">178 (10)</td> <td style="text-align: center;">16,274 (30)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] 訪問者数等の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">R 2</th> <th style="text-align: center;">R 3</th> <th style="text-align: center;">R 4</th> <th style="text-align: center;">R 5</th> <th style="text-align: center;">R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">83,927 (150)</td> <td style="text-align: center;">72,953 (132)</td> <td style="text-align: center;">85,636 (155)</td> <td style="text-align: center;">85,984 (156)</td> <td style="text-align: center;">95,675 (177)</td> </tr> <tr> <td>協力者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">10,845 (19)</td> <td style="text-align: center;">10,527 (19)</td> <td style="text-align: center;">13,051 (24)</td> <td style="text-align: center;">13,910 (25)</td> <td style="text-align: center;">16,274 (30)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 訪問者数や協力者数は、新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年度以降において最高値となった。学校の実態に応じて、保護者や地域との連携・協働を重要視し、意識を高くもって取り組んだことが伺える。</p> <p>次年度以降も、学校と地域との連携等の強化を促し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高めていきたい。</p>		小学校	中学校及び 義務教育学校	高等学校	特別支援学校	全 体	訪問者数 (人) (一校あたり)	71,640 (236)	16,503 (101)	6,201 (109)	1,331 (78)	95,675 (177)	協力者数 (人) (一校あたり)	11,638 (38)	3,488 (21)	970 (17)	178 (10)	16,274 (30)		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	訪問者数 (人) (一校あたり)	83,927 (150)	72,953 (132)	85,636 (155)	85,984 (156)	95,675 (177)	協力者数 (人) (一校あたり)	10,845 (19)	10,527 (19)	13,051 (24)	13,910 (25)	16,274 (30)
	小学校	中学校及び 義務教育学校	高等学校	特別支援学校	全 体																																
訪問者数 (人) (一校あたり)	71,640 (236)	16,503 (101)	6,201 (109)	1,331 (78)	95,675 (177)																																
協力者数 (人) (一校あたり)	11,638 (38)	3,488 (21)	970 (17)	178 (10)	16,274 (30)																																
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6																																
訪問者数 (人) (一校あたり)	83,927 (150)	72,953 (132)	85,636 (155)	85,984 (156)	95,675 (177)																																
協力者数 (人) (一校あたり)	10,845 (19)	10,527 (19)	13,051 (24)	13,910 (25)	16,274 (30)																																

(2) 学校で取り組む5項目

- ① 「命に関する講話」等を通して、かけがえのない命を大切にする心情を育む。
- ② 本教育週間の取組について、家庭・地域・関係機関等と連携して企画し、運営にあたる。
- ③ 情報モラル教育教材「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラルの学びを通して、相手の立場に立った言動などを大切にする心情を育む。
- ④ 話し合いや学びの場を通して、「いじめ（SNSによる誹謗中傷等を含む）はどんな理由があってもいけないことだ」という意識を育む。
- ⑤ 「道德の授業」、高等学校及び特別支援学校高等部にあっては「道德教育に関わる教育活動」を全学級で公開する。

(3) 各学校の取組例

- ① 命を大切にする心や思いやりの心の育成、道德等の授業公開
 - ・ 「生命の尊重」、「思いやり」等をテーマとした校長講話
 - ・ 「生命の尊重」を題材とした道德の授業（公開授業）
 - ・ 性に関する教育（講演会等）
 - ・ 救命救急法講習会
 - ・ 高齢者との交流、福祉体験（障害者・高齢者疑似体験等）
 - ・ 平和教育（被爆体験者の講話、佐世保空襲を語り継ぐ会等）
- ② 地域との連携した取組、
 - ・ 保護者・地域住民によるネットワークパトロール
 - ・ 地域と連携したあいさつ運動
 - ・ 地域住民との交流（農作業、清掃、花植え等）
 - ・ 非常事態時の引き渡し訓練
- ③ 情報モラル教育
 - ・ 「SNSノートながさき」を活用した情報モラル教育
 - ・ 県メディア安全指導員による講話
 - ・ 家庭でのメディアコントロールの取組
- ④ いじめ防止の取組
 - ・ いじめ防止のためのワークショップ
 - ・ いじめ防止を目的とした集会
 - ・ 豊かな心を育む縦割り活動（遊び、清掃、あいさつ運動等）
 - ・ 生活アンケート、全員面談の実施

(4) 「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラル教育の実施

- ・ 令和4年度 実施率…96%
- ・ 令和5年度 実施率…97%
- ・ 令和6年度 実施率…98%

※次年度からは、活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」の活用を推進し、情報モラルとともに情報活用能力の育成を図る。

報 告 事 項 (2)

学芸文化課

件 名	第70回記念長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」について																		
概 要	<p>1 目 的 県内全ての小・中学生を対象に作品を募集し、作品展を開催することにより、小・中学生の図画工作・美術に対する関心を高め、併せて、創造の喜びを体験させ、豊かな心を養い、造形活動の活性化を図る。</p> <p>2 主 催 長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会</p> <p>3 共 催 長崎市教育委員会 波佐見町教育委員会 対馬市教育委員会</p> <p>4 出品規定 (1) 対 象 県内の小学校、中学校、義務教育学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童生徒が本年度、授業で制作した作品 (2) 部 門 絵画・版画・デザイン・立体 (版画・デザイン・立体は中学生のみ)</p> <p>5 審 査 (1) 一次審査 …… 県内17ブロックで審査を実施し「入選」を決定 (2) 二次審査 …… 長崎市で審査を実施し「特選」を決定 (3) 特別賞審査 …… 長崎市で審査を実施し「特別賞」を決定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">令和6年度</th> <th style="width: 35%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>87,183人</td> <td>85,503人</td> </tr> <tr> <td>作品数</td> <td>102,031点</td> <td>115,254点</td> </tr> <tr> <td>入選数</td> <td>7,931点</td> <td>8,683点</td> </tr> <tr> <td>特選数</td> <td>788点</td> <td>770点</td> </tr> <tr> <td>特別賞数</td> <td>42点</td> <td>60点</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 作品展 ○ 総合展 長崎県美術館 県民ギャラリー 1月21日(火) ～ 1月26日(日) ○ 巡回展 波佐見町講堂 1月31日(金) ～ 2月 4日(火) 対馬博物館 2月14日(金) ～ 2月19日(水)</p> <p>7 表 彰 ○ 特別賞 知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞 各14名 計42名</p> <p>8 表彰式 (1) 日 時 1月26日(日) 13:30～14:30 (2) 場 所 長崎県庁1階 ABC会議室</p>		令和6年度	令和5年度	参加者数	87,183人	85,503人	作品数	102,031点	115,254点	入選数	7,931点	8,683点	特選数	788点	770点	特別賞数	42点	60点
	令和6年度	令和5年度																	
参加者数	87,183人	85,503人																	
作品数	102,031点	115,254点																	
入選数	7,931点	8,683点																	
特選数	788点	770点																	
特別賞数	42点	60点																	



第70回記念 長崎県小・中学校児童生徒美術作品展

掲載作品は昨年度の「子ども県展」
知事賞受賞作品です。

子ども県展

入 場 無 料

子どもたちの
感性に浸って
みませんか？

躍動する思い！
はじける表現！



総
合
展

長崎県美術館
県民ギャラリー

会 期
令和7年
1月21日(火)▶1月26日(日)
開館時間
10:00～20:00

巡
回
展

波佐見町講堂

東彼杵郡回画工作作品展も同時開催

会 期
令和7年
1月31日(金)▶2月4日(火)
開館時間【開館30分前まで入館可】
10:00～16:00
※土・日曜日は17:00まで

対馬博物館 (対馬市)

会 期
令和7年
2月14日(金)▶2月19日(水)
開館時間【開館30分前まで入館可】
9:30～17:00

※総合展は、特別賞・特選の全作品を展示。入選作品の展示はありません。

※波佐見町巡回展は、会場の都合上、特別賞全作品、立体の特選、東彼杵郡の特選・入選作品(平面)を中心に展示。

※対馬市巡回展は、会場の都合上、特別賞全作品、立体の特選、対馬市の特選・入選作品(平面)を中心に展示。

お問い合わせ先

長崎県教育庁学芸文化課 教育文化班

TEL 095-894-3385

「子ども県展」事務局 長崎市立高尾小学校

TEL 095-847-9450

主催/長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会 共催/長崎市教育委員会 対馬市教育委員会 波佐見町教育委員会

後援/長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、共同通信社長崎支局、時事通信社長崎支局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、KTNテレビ長崎

N18長崎国際テレビ、NCC長崎文化放送、NBC長崎放送、NHK長崎放送局、エフエム長崎、株式会社長崎ケーブルメディア

TVSテレビ佐世保、株式会社コミュニティメディア(対馬市CATV)、波佐見ケーブルテレビ(株式会社ネット鹿島)、長崎県中学校文化連盟



報 告 事 項 (3)

学芸文化課

件 名	「ちょっと見てみんな！神楽の世界」の開催について
概 要	<p>1 目 的</p> <p>令和7年度に本県で開催される「ながさきピース文化祭2025」を契機として、県民の伝統芸能への興味や関心を喚起し、地域を担っていく若者が積極的に継承していく機運を高めていくため、イベントとして本県の玄関口である長崎駅において国の重要無形民俗文化財である県内の神楽を披露する場を設け、もって地域の活性化を図る。</p> <p>2 主催等</p> <p style="margin-left: 2em;">主 催 長崎県教育委員会</p> <p style="margin-left: 2em;">共 催 壱岐市教育委員会、新上五島町教育委員会、平戸市</p> <p style="margin-left: 2em;">後 援 全国神楽継承・振興協議会、報道各社 等</p> <p>3 日 時 令和7年2月24日（月・祝） 13：00開演</p> <p>4 会 場 JR長崎駅 かもめ広場 特設ステージ</p> <p>5 内 容</p> <p style="margin-left: 2em;">13：00～ 希望が丘高等特別支援学校和太鼓部による オープニングセレモニー</p> <p style="margin-left: 2em;">13：40～ 五島神楽（上五島神楽）公演 演目「六将軍」「潔戒」「平舞」「獅子舞」</p> <p style="margin-left: 2em;">14：35～ 壱岐神楽公演 演目「二弓」「篠」「八咫鳥」「折敷舞」</p> <p style="margin-left: 2em;">15：30～ 平戸神楽公演 演目「山海鬼（猿田彦舞）」「神相撲」「四剣」 「二剣」</p> <p style="margin-left: 2em;">16：15 終 演</p>

神楽の世界

ちよつと見てみんね!

国指定重要無形民俗文化財ハネル展を同時開催

民俗芸能は、人々の生活と信仰の中で、共に祈りや感謝、喜びを確かめ合い、絆を強めるという大切な役割を果たしながら、地域の風土や歴史に育まれ、代々守り伝えられてきました。県内各地域には、神楽や風流踊りなど、多くの民俗芸能が伝えられており、中には数百年以上の歴史を持つものもあります。今回のステージは、民俗芸能の中でも特に重要なものとして、国の重要無形民俗文化財に指定されている県内3つの神楽(「壹岐神楽」「五島神楽(上五島神楽)」「平戸神楽」)を同時にご覧いただける、貴重な機会となります。ぜひ、「ちよつと見てみんね!」音と舞に命宿る神楽の世界を。



13:00 ▶ 13:20

オープニングセレモニー
長崎県立希望が丘高等特別支援学校 和太鼓部

13:40 ▶ 14:25

五島神楽(上五島神楽)



「六將軍」「潔戒」「平舞」「獅子舞」

▶五島神楽とは五島市、新上五島町、佐世保市宇久町に伝わる神楽の総称で、室町末期に原型が生まれ、江戸の中期に現在の神楽舞に整ったとされています。今回上演される「上五島神楽」は、秋のお祭りには、町内のほとんどの神社で賑やかに舞が奉納され、鳥の人びとにより大切に支えられている新上五島町最大の伝統芸能です。

14:35 ▶ 15:20

壹岐神楽



「二弓」「篠」「八咫鳥」「折敷舞」

▶壹岐神楽は約700年の歴史を持ち、神楽舞も音楽も神楽のみで奏上されています。讀面等はなく口頭でのみ伝承され続け、たたみ2畳の上で舞われます。曲目の数によって幣神楽・小神楽・大神楽・大大神楽(鶴戸神楽)の4つに分けることができ、現在最も多く奏上されるのは大神楽です。

15:30 ▶ 16:15

平戸神楽



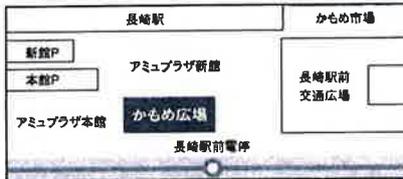
「山海鬼(猿田彦舞)」「神相撲」「四剣」「二剣」

▶平戸神楽は、江戸時代に平戸藩主であった松浦家第29代鎮信の頃に、家臣の橋三喜が古くから伝わる平戸の神楽を基礎に、諸国を巡って神楽を見聞し、完成させたと言われています。神楽の舞は全部で24番までありますが、奉奏曲目の数などで、小・中・大・大大神楽の4種類に分けられます。

16:15 ▶ 16:20

閉会 熱と迫力の「神楽の世界」、ご覧いただきありがとうございました

かもめ広場 map



お知らせ

ながさきピース文化祭2025 地域文化発信事業として
令和7年11月23日(日) 九州地区民俗芸能大会
11月24日(月・祝) 長崎県伝統芸能大会(仮称)
を[大村市シーハットおおむら]で開催予定です。
こちらへのご来場もお待ちしております。
【お問い合わせ】長崎県教育庁学芸文化課 tel.095-894-3384



X(旧Twitter)

長崎県の文化財に関する情報は
こちら



NGS_KENKAKUBUN



ながさきピース文化祭2025

11月14日(日) → 11月30日(日)

「ながさきピース文化祭2025」は、「第40回国民文化祭、25回全国障害者芸術・文化祭」の統一名称(愛称)です。発表・共演・交流の機会が文化をもっと豊かに面白くする。日本中が参加する文化の祭典、ピース(平和)な時だからこそ、文化を思いきり楽しむ!文化で生まれる交流が、ピースを育む!文化芸術を通じて、平和を長崎から国内外へ発信しようという思いが込められています。

LET'S TAKE A LOOK! THE WORLD OF KAGURA

